

令和3年度  
11月号

# 幼稚園だより



令和3年10月29日  
文京区立湯島幼稚園

「やってみようかな」

園長 前田 宏子

最近は季節の変わり目が早いように感じます。空が高くなり、秋を感じる時期になったと思ったら12月頃の気温の日もあり、秋があっという間に通り過ぎていくようです。

運動会後は身体を動かして遊ぶ子どもが増えました。身体を動かすことが楽しい！と感じられる機会が増えることはよかったですと思います。また、ライスチャレンジクラブの坪田先生を招聘して、ばら組は縄遊び、ゆり組はボール遊びのご指導をいただきました。縄遊びでは“縄を跳ぶ”前にたくさんの動きを楽しむことが必要であることを伺いました。大人は兎角、縄を見ると、縄跳びとしてすぐに跳ばせたくくなります。しかし、その前に必要な動きができるかを考える必要があります。縄跳びの場合、ジャンプをしながらリズムに合わせて手拍子ができると比較的、縄跳びをしやすいそうです。この部分ができないのに、縄を回しながら、跳ぶことは大変難しいことになってしまいます。

子どもは自分にとって「難しすぎるなあ」と思うことには挑戦しません。「やってもできないだろうなあ」と思うことはやっても楽しくないことを知っています。「これは楽しい！」と思うことは、自分がやってみて、「できた！」という思いをもっている時です。そして、「できた！」「楽しい！」と思うことがたくさんあると「ちょっと難しそうだけど、やってみようかな」と思い、挑戦する気持ちをもてるようになるのだと思います。初めて取り組むことには最初はゆっくり、焦らず、できることを重ねていくことを大切にしていきたいですね。

幼稚園では学級の実態や発達に合わせた活動を行っています。しかし、皆が一斉に「楽しい」と感じるわけではなく、1回目の活動で「楽しい」と思う子どもいれば、何回かやってみて「楽しい」と感じる子どもいます。子どもたちの感じ方はそれぞれですので、その思いを受け止めつつ、一人一人に応じて活動を促していきます。

これからも、「できた」「楽しい」と思う経験を重ねていき、「やってみようかなあ」と思うことを増やしていきたいと思っています。